令和３年度第２回鳥取県教育審議会生涯学習分科会兼鳥取県社会教育委員会議の概要について

令和４年５月１２日

社会教育課

１ 日　　時　 令和４年３月２９日（金）午後１時３０分から午後３時まで

２ 場　　所　 オンラインによる開催（本部：鳥取県庁第二庁舎５階　教育委員室）

３　出 席 者　 別紙のとおり（委員１４名中８名の委員の参加により会が成立）

４　会議概要

|  |
| --- |
| 議事　コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の推進に関する建議（案）について |

○　令和３年度第１回鳥取県教育審議会生涯学習分科会兼鳥取県社会教育委員会議（令和３年11月１９日）で実施を決めたコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に関する建議の素案について協議した。

○　教育委員会への建議は、当初予定していた令和４年３月から延期をして同年９月を目途に行うこととし、検討期間を確保のうえ、これまでに実施されなかった県立学校の視察等も行い、市町村立学校にとどまらず、内容を更に充実させることとなった。

（１）事務局の説明

・　県内の学校運営協議会や地域学校協働活動に携わる方々(市町村教委担当者、学校運営協議会委員、地域学校協働活動推進員、学校支援ボランティア、担当教職員など)の課題意識について、「令和３年度鳥取県コミュニティ・スクール推進研修会兼地域学校協働活動研修会」参加者アンケート自由記述欄の内容を基に説明した。

・　令和３年１月以降の審議内容等をもとに、分科会長と事務局で作成した建議（素案）の概要について説明した。

（２）主な意見

**（建議における県立学校の取扱について）**

・　素案は市町村立学校に関する内容が殆どを占めているが、県教育委員会には市町村を支援する立場と県立学校設置者の立場の二つがあることから、建議に県立学校についても盛り込むべき。今回の建議に盛り込めない場合は、改めて県立学校についての建議を行うこともできるのではないか。ただし、今回の建議に県立学校を盛り込む方が内容に一貫性が出てよいとは思う。

・　教育委員会への建議手交を令和４年３月に予定していたが、現委員の任期が満了となる同年９月を目途に行うこととして、県立学校などについても更に検討してはどうか。

・　県立学校については、新型コロナウイルスの感染拡大状況に応じ、視察のほか可能な方法で現状を確認のうえ検討を進めてはどうか。

**（建議素案の構成・内容について）**

・　県立学校に関する事項を盛り込むことに伴い、章立てを追加する必要がある。

・　視察概要や審議経過は本文ではなく巻末にまとめた方がよいのではないか。

・　審議経過は本文中にあってもよい。

・　審議内容は分かりやすくまとめてある。

・　本日の審議にあたって周囲の人に尋ねてみたが、学校に関わりがない人には地域学校協働活動や学校支援ボランティアなど活動があることも募集されていることも知られていないので、そのような人たちにも理解してもらえるような建議にするべきではないか。

・　学校運営協議会や地域学校協働活動に携わる大人の気付きや学びにつながる方策についても触れてはどうか。活動に携わることで大人の自己肯定感も育めるのではないか。

・　本分科会で市町村立学校の視察を行ったところ、地域ごとに独自性のある取組が行われていた。画一的な取組みを求めるのではなく、地域の独自性が生かされるような取組がよいのではないか。

・　学校と地域をどうつなぐか、学校がどのように地域の信頼を得ていくのかが重要。学校は地域の信頼がなければ成り立たない。

・　県教育委員会の目標では、令和５年度のコミュニティ・スクールと地域学校協働本部の県内導入率が100％となっている。まだ、組織や制度、意義などについての理解が十分でないところもある。形だけでなくしっかり機能するよう、関係者への研修や情報発信を行っていく必要がある。

・　公民館や民間団体との協力も検討していければよいのではないか。

（３）今後の予定

・　県立学校の視察は第１四半期に行えるよう調整する。

・　本日の協議結果を踏まえて分科会長と事務局により建議（案）を調整する。